

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所　くくる岡崎			
○保護者評価実施期間	令和8年6月11日		～	令和8年7月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和8年6月11日		～	令和8年7月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年7月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・母子通所を行っており、保護者が一人で抱え込まず職員と話ができたり、保護者同士横のつながりが持てること。 ・お子さんが小集団を経験することで、強みや課題を客観的に捉えることができること。	・見通しが持てるよう簡単なやりとりを中心に繰り返しているようにしています。 ・小さな「できた」を積み重ね褒められる経験から意欲につながっていきます。	・毎日の生活の中の具体的な声かけや、痼癢の対処など、家での関わりに繋がるよう今後も取り組んでいきます。
2	・作業療法士が在籍しており、保育士をはじめ様々な専門的な視点からお子さんへアプローチできること。	・集団、個別ともに活動内容に偏りが出ないよう、保育士と専門職で話し合いを行っています。	・それぞれの専門性を生かしながら、今後も取り組んでまいります。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の目の前が交通量の非常に多い道路に面しており、事業所への車の出入りはもとより、お子さんの乗降に危険が伴うこと。	交通量が多い事や、事業所の駐車場で向きを変えたりする車両も時々みられる。	車の出入りについては、一人職員が入れてもらえるよう対応したり、お子さんの乗降の際は、待機職員が必ず外に出て車両と入口の動線の確保を行っています。お子さんの移動については必ず手をつなぎ、職員同士声をかけあい危険のないよう、また事故に繋がらないよう対応しています。
2	外部との交流が少ないこと	多機能であることから事業が多岐にわたりあまり積極的に活動していない	今後は他事業所との交流ができるよう、また地域の方々と触れあう機会が持てるよう計画を立てていきたいと考えております。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 くくる岡崎

公表日 R8 年 7 月 23 日

利用児童数

20名

回収数

16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1		1	冬の児学の際、とても寒く床から冷える感じがした	季節に合わせ快適に過ごせるよう調整していきたいと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	8		公園、図書館等へ出かけております。今後も様々な場所で交流ができるよう計画していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	3	4	職員の声かけに対する子どもの様子を見る事ができたらと思う。 個別相談ができており研修等なくても問題はない。	面談以外でも機会が設けられるよう検討していけたらと思います。いつでもお子さんの様子を見にきていただけたらと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	5	8	保護者の交流があり支えになりました。	母子通所では保護者同士で話していただく時間も設けております。今後もお子さんやご家族に寄り添っていけたらと考えております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2		2	再確認、要調整となった際の対応が期待しているより遅いと感じる事がたまにあります。	迅速に対応できるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12		1	3	おたよりは楽しみにしています。	引き続き日々のお子さんの様子をお伝えしていきます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2	1	7	あると思うが知らない。	今後おたより等で周知できるよう検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		9	あると思うが知らない。	火災、地震については定期的に避難訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			7	あると思うが知らない。	安全計画に基づき委員会において話し合い、検討をすすめております。どのように周知していくか考えてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		4	事故がないためわからない。	事故等については今後も迅速に対応してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14		1		おやつを楽しみにしているようです。	今後もお子さんが安心して楽しく通っていただける事業所であるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1		1	子どもの良い所を見つけて支援して下さりありがとうございます。	お子さん、ご家族が安心してご利用いただけるよう、職員一同力を合わせて支援していけるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8 年 7 月 23 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容や時間帯により部屋を使い分けて対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		様々な専門職で対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・転倒防止のためマットを引いています。ただズレやすいため注意しています。 ・視覚支援について、靴、荷物、玩具等の場所がわかるよう表示しました。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々清掃、消毒、換気等、清潔に保てるよう努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンが必要になった際は、空いている部屋を使えるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートの結果を基に職員会議を行い、改善点を把握し、今後の対応の検討を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会やミーティング等を通して話し合う機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による評価を行いたいと思っていますが、具体的な動きにはつながっていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎週金曜日を研修日として内部研修を行っています。必要に応じて外部研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日々の様子や面談等でお聞きした内容をふまえ、職員間で共有し計画の作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議を行い、児発管と専門職等も含め話し合いを行い、計画に反映させています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		1か月の活動内容を専門職を含め、職員間で話し合って決めています。内容に偏りが出ないように努めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		専門職も加わり内容を決めています。どのお子さんも様々な活動に取り組めるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝の打ち合わせを行い、送迎、活動内容や役割については確認しています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日、もしくは翌日の打合せで連絡事項等を含め共有するよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日誌にその日に行った支援内容や利用児の様子を記載、また振り返りを行い見直すようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		会議に参加した事はありませんが、必要となればぜひ参加したいと思います。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園送迎時にお話させていただいています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		今後検討していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在交流等は行っていないが屋外、公園等で他児との交流機会が持てるようにしています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に支援中の様子をお伝えし、ご家族からもお話を伺い職員間で共有するよう努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		母子通所の中でご家族のお話を伺いつつ、専門職との話し合いや、必要に応じて助言させていただいております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際、児発管よりご家族へお伝えさせていただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご本人から意思を確認する事は難しいが、ご家族のお気持ちやご希望を尊重し計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児発管からご家族へ現状と伺っている内容を併せ、計画についてわかりやすく説明させていただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や面談等でご家族のお話を伺う時間を設けています。また、困り事等その都度お話をさせていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		実施に至っていません。今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一度おたよりを配布しています。その日の活動内容や日々の様子をお伝える機会としています。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの作成を行い事業所内で職員の訓練を行っています。	ご家族への周知に至っていない部分もあるため、おたより等でお知らせする機会を設けていきたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地震、火災等を想定した避難訓練を定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約の際、ご家族から様子をうかがい、服薬状況の把握をしています。	今後も定期的に状況把握、確認を行っていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ご家族からうかがった内容をもとに対応しています。おやつについては成分表を確認し、安全に配慮しています。	緊急時に備え、保護者との連絡を重ね、医師の指示書についても確認してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいた研修を実施、また周辺危険個所の確認、事業所内破損箇所がないか等その都度確認を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		委員会を行い、事業所全体で共有しています。また職員会でも報告、話し合いを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待、身体拘束の研修を全職員に実施し、意識の向上を図っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在、身体拘束に至る児童はいません。	